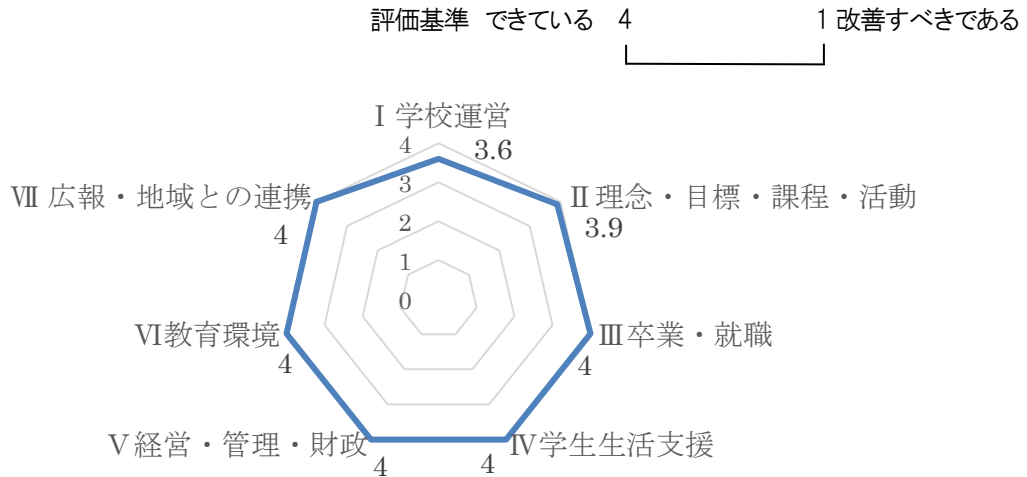


# 令和7年度 自己点検・自己評価

## 目的

教育評価の一環として、学校経営・管理及び教育活動、学生生活支援等に対する自己点検・自己評価を継続的・循環的に行い、改善点を見出し、教育活動の質向上を目指すとともに、地域ニーズに応える魅力ある学校となるよう努める。そのために、定期的に教育活動および学校運営の評価を行う。

自己点検・自己評価(7領域31項目)の結果



カテゴリー	評価点	概要
I 学校運営	3.6	組織目標の策定に職員の意見を反映させ、理念を具体的な教育課程へ昇華させる土台が構築されている。精神看護学実習の教員不在という不測の事態をチーム力で補完した。一時的ではあるが、特定の教員への負担が集中し、安定した教育環境を維持する上で、組織的なバックアップ体制が十分に機能したとは言い難い状況であった。
II 教育理念・教育目標・教育課程・教育活動	3.9	理念を具現化する教育課程を構築し、高い学生満足度を得た。1部の専門担当教員の不足も組織的連携で補い実習を完遂した。また、困難を要した留年予定者の学習維持支援は、多角的な動機づけ支援やサポート体制の強化を要した。
III 卒業・就職	4	学生一人ひとりの習熟度や心身の状態に応じた伴走型の指導と、キャリア形成支援を展開している。卒業後も従来通り相談に応じる窓口を継続し、高い満足度を得た。低学年からの学習習慣定着が今後も課題である。
IV 学生生活支援	4	経済面、精神面、身体面から多角的な学生支援体制を構築している。個々の状況に応じた適時面談や専門機関との連携、柔軟な履修対応を行い、健康管理体制の学生満足度は 4.7 と高く評価されている。
V 経営・管理・財政	4	予算と経費の適正管理を図り、利便性向上を推進している。人権・個人情報保護の研修を行い、防災訓練や学生との双方向の対話を通じて、安心・信頼できる学校運営を継続している。
VI 教育環境	4	安全で ICT を活用した自主的な学習環境を確保している。実習室の開放や自治会活動の支援を通じて、学生の主体的な学びと交流の場を創出している。* 学生満足度調査: 施設・設備 4.1(5点満点)
VII 広報・地域との連携	4	学校としてできる地域活動を行っている。地域と学生のニーズを考慮し、今後も活動を広げていきたい。また、地域への帰属意識が定着できるよう働きかけている。